

科目名	子ども発達心理学研究 [院]					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1, 2	授業番号	8011

●授業のテーマ

子どもの発達・臨床心理的諸問題に関する実践研究

●到達目標

今日の子どもの発達上の諸問題を取り上げ、それへの質の高い実践力と精神力を習得する。また実践研究者としての現場での対応力も身につける。

●学習内容(授業概要)

発達の理論、人格理論、精神分析理論、カウンセリングの理論と技術を整理し、今日の子どものいじめ、不登校、発達障害の問題を取り上げ討論する。子どもの背後にいる親の存在を見過ごすわけにはいかない。現場における親への対応力も疑似体験を通じて学ぶ。

[キーワード] 子どもの発達・臨床上の問題、保護者、カウンセリング、ボランティア、実践力、精神力、対応力

●学習内容(授業計画)

1. 子ども発達心理学研究とは、受講動機について
2. 障がい児保育1・2 (障がい児保育とは、障がい児保育の課題)
3. 発達心理学1・2 (発達理論、発達段階)
4. 臨床心理学1
(臨床心理検査、臨床心理面接、臨床心理的地域援助)
5. 臨床心理学2 (人格理論、精神分析理論)
6. カウンセリング概論と演習
7. セラピー概論
8. セラピー各論1・2 (遊戯療法、行動療法など)
10. 事例研究1 (いじめ・不登校の事例研究)
11. 事例研究2 (自閉症スペクトラムの事例研究)
12. 事例研究3 (注意欠陥・多動性障害、学習障害の事例研究)
12. 保育心理概論
13. 保育心理演習1 <保護者への対応① (クレーマーの親) >
14. 保育心理演習2 <保護者への対応② (モンスターペアレント) >
15. 現場におけるボランティアの協力

●準備学習・事後学習の内容

毎回の講義のテーマごとに、予め、その関連について専門書等で研究し、講義に臨むこと。また、講義後は、講義の内容について、考察の視点をひとつ持ってまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

研究課題の発表（50%）、研究課題のレポート（50%）により評価する。

●テキスト（必携）

講義時に指示する。

プリントを配布する。

●参考文献／その他

講義時に指示する。

●履修上の注意

学生の皆さんの積極的な討論への参加を望む。